

終了報告書

2019年8月

Final Report Automechanika Dubai

2019年6月10日(月) - 12日(水)
ドバイ国際コンベンション&エキジビション センター

メッセフランクフルト ジャパン株式会社
海外見本市チーム
Tel. 03-3262-8444
Fax 03-3262-8442
E-mail. info@overseas-fairs.com
東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F
<http://www.jp.messefrankfurt.com/>

中東・アフリカ地域において最大規模の自動車部品・アフターマーケット
専門見本市「アウトメカニカ ドバイ」が盛況のうちに閉幕

3日間の会期中に 63カ国・地域から 1,880社が出展、146カ国・地域
から 32,414名が来場

アラブ首長国連邦(UAE)のドバイで開催されたアウトメカニカドバイが6月10日(月) - 12日(水)の3日間、ドバイ国際コンベンション&エキジビション センターで開催され、盛況のうちに閉幕しました。毎年開催され、今年17回目を迎えた本見本市には、前年比4%の増加となる63カ国・地域の1,880社が出展し、前年比約2%増の32,414名¹が146カ国・地域より来場しました。



会場風景

63,300平方メートルの会場には、パーツ&コンポーネンツ、エレクトロニクス&システム(合計出展者数:1,181社)、アクセサリ&カスタマイズ(出展者数:246社)、タイヤ&バッテリー(出展者数:226社)、リペア&メンテナンス(出展者数:155社)、カーウォッシュ、ケア&リコンディショニング(出展者数:72社)の6つ

¹ 来場者数は速報値です。

Final Report Automechanika Dubai

の主要な製品カテゴリーが設けられました。また、本開催では新たにオフロード用パーツ&機器、ボディ&ペイント、モーターサイクル適合製品、オイル&潤滑剤の4つのサブカテゴリーを追加することで、広い展示会場を効率的に見て回れるように構成が変更されました。さらに、23の各国パイビリオンや34の国際的な業界団体の出展、自動車アフターマーケットの未来を展望する注目のイノベーションゾーンの展開など、非常に国際的であり、なかでも中東・アフリカ市場の入口として高い評価を得る本見本市の特徴が感じられる開催となりました。

アウトメカニカドバイ統括責任者である Mahmut Gazi Bilikozen は、「自動車アフターマーケット・コミュニティ全体が結集するアウトメカニカドバイでは、中東・アフリカだけでなく、インド亜大陸、独立国家共同体(CIS)の企業が知識を共有し、ビジネスネットワークを拡大しています。アジア、ヨーロッパ、アメリカの主要な製造国の中心に位置するという好ロケーションに加え、貿易業者やアフターマーケットの専門家がアクセスしやすいことで知られるドバイという立地が、アウトメカニカドバイに他のアフターマーケット見本市では誘致できないようなバイヤーを惹きつけることを可能にしています」と述べました。

新興グローバル市場、特に自動車アフターマーケットへの入口としてのドバイの地位は、アウトメカニカドバイ2019で発表された数字からも見るができます。ドバイ税関によると、UAEのアフターマーケット部品の取引は過去10年間に2桁成長を遂げました。また、2018年には210万トンの自動車部品とアクセサリー(103億米ドル相当/約1兆900億円)が取引されましたが、これは2009年(78億米ドル/約8,268億円)に比べ32%増加となります。この数字には、55億米ドル(約5,830億円)相当の自動車部品、アクセサリー、バッテリー、タイヤ、エンジン部品の輸入が含まれ、周辺諸国への輸出および再輸出は48億米ドル(約5,088億円)相当となりました。²

また、同税関によると、日本はドバイの自動車部品取引の相手国リストで1位であり、2018年には、両国間で14億米ドル(約1,484億円)相当のアフターマーケット製品を取引しています。トップ5には、米国(7億3,500万米ドル/約779億円相当の自動車部品貿易)、ドイツ(6億8,000万米ドル/約720億円)、韓

² 換算レート 1米ドル=106円(2019年8月6日)

Final Report Automechanika Dubai

国および中国(各 6 億 2600 万米ドル/約 664 億円)が続きます。これらの国々はアウトメカニカドバイ 2019 でパビリオンを開設し、強い存在感を示しました。日本からはジャパンパビリオン出展企業 5 社を含む 14 社の日系企業が出展しました。³



ジャパンパビリオン

会期中、出展者からポジティブなコメントが多く寄せられました。オフロードタイヤのメーカーであり輸出企業の Balkrishna Industries (BKT) でアシスタント・ゼネラルマネージャーを務める Vikash Nathani 氏は、「アウトメカニカドバイは中東地域とアフリカからの顧客に会える、素晴らしいビジネスプラットフォームであり、タイヤ分野において最大級の見本市です」と話しました。

ドイツのメーカー Mann + Hummel の中東マーケティングマネージャーである Azhar Jaleel 氏も見本市に満足を示し、「私たちは 2014 年以來、アウトメカニカドバイに出展してきました。ここでは販売業者だけでなく潜在的な顧客と出会うことができ、さらに北アフリカなどの地域からの来場者数も増えています。当社では、アフリカからの見込みのある取引や接触が増えており、この地域は来年 7% 成長すると予想しています。湾岸地域は石油価格がどの程度上昇するかによりま

³ 換算レート 1 米ドル=106 円(2019 年 8 月 6 日)

Final Report Automechanika Dubai

すが、2-4%成長すると見込んでいます。アフリカと北アフリカは現在、当セクターでより大きな役割を果たしていると認識していることから、中東で当社のブランド価値とプレゼンスを確立することが非常に重要であると考えています。次回も必ずアウトメカニカドバイに出展し、引き続き湾岸諸国の顧客開拓を進めるとともに、その他の地域では流通の拡大を図っていきます」とコメントしました。

2018年に続き、本開催でもイノベーションゾーンが設けられました。会場の中心に位置する出展者プレゼンテーションと製品展示が行われる特設ゾーンには、中東地域と世界の自動車アフターマーケットを牽引するWabcoやFSEなどの企業が出展しました。また1,260社の出展者が、トラックパーツやアクセサリから作業場の機器、ボディの修理と補修に至るまで、トラック部門全体のバリューチェーンに特化したトラック適合製品を展示しました。

Automechanika Academy (AA) も開催され、世界的な調査会社 Explori が実施した中東自動車産業のイノベーションを探る調査の結果報告や、ドバイ税関による2018年のドバイの自動車部品とアクセサリの貿易報告などに関するプレゼンテーションが実施されました。また、その他にもアフリカ地域のアフターマーケットの動向を詳しく紹介するセミナーが多く開催されました。

次回、18回目を迎えるアウトメカニカドバイは、2020年6月7日(日)ー9日(火)にドバイ国際コンベンション&エキジビションセンターにて開催されます。見本市の詳細は公式サイト www.automechanikadubai.com をご確認ください。

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約7億1,800万ユーロを誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に30の拠点をもち、全体で2,500人*を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、見本市&イベント、地域性、サービスの3つの枠組みで、各地であらゆる産業界を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。

より詳細な情報は公式ウェブサイトをご覧ください。 www.messefrankfurt.com